令和4年6月30日（通巻第206号）

***ボウルズ・ジャパン　ブリテン***

　　　　　　　　　　　発行元：認定NPO法人ローンボウルズ日本　総務部

一般情報など

1. 新入会員紹介

　　　　６月1日付けで横浜カントリー＆アスレティッククラブにTom Tyrrellさんが入会

　　　　されました。

1. 熱中症対策のお願い

　本格的な夏を前にして熱中症で搬送される人が全国的に急増しています。

これは、体が暑さに慣れる「暑熱順化（しょねつじゅんか）」が十分でないのが原因の１つであると言われています。

本格的な夏が来る前の今のうちに、屋外で日にあたり軽い運動で汗をかき、水分や食事をとることを実行しておくことで、「体が暑さに慣れ」て、「発汗による体温調節機能の向上」や「血液の循環量の向上」がはかられ、真夏になっても熱中症になるリスクが下がると言われています。ぜひ皆さん、心がけて下さい。

2022年6月の行事、活動などの結果

（１）BJ理事連絡会（Ｗeb会議）令和4年度（第2回）を開催した。

日時：6月18日（土）20：00～22:00

場所：ZoomによるWeb会議

参加者：12名

議題：

１．各理事からの情報共有事項の報告　（内容省略）

２．ジャパン・オープン国際大会に出場する日本人チーム（8チーム）の編成について

　　　（結論）

* 海外からは6チームの応募があった。国内は8チームを募集して、合計14チームで競技運営することにする（これまでの大会と同一）。

　•　国内8チームの内訳を次のようにする。

　　　　　　①　日本代表1チーム：「強化対象1軍選手」が確定したらその中から選抜

　　　　　　②　若手選手による1チーム：BJ技術競技部で個別選抜

　　　　　　③　関東地区代表2チーム：関東LB協会に選抜を委任

　　　　　　④　関西地区代表3チーム：関西LB協会に選抜を委任

　　　　　　⑤　日本障がい者1チーム：　BJ障がい者LB部で選抜

　　　　　　　 　　•　1チームは女性を少なくとも1名以上含むトリプルズであるが、リザーブを

　　　　　　　　　　　　加えて4名とすること可とする。

* 8月中旬には決定して、発表することを目標にする。

３．その他の提案事項

　•　ローンボウルズのプロモーション・ビデオ（日本版）を作ると良い。

（２）愛知県庁を訪問し、第５回アジアパラ競技大会にローンボウルズ種目を含めることについての

陳情を実施

日時：6月23日（木）11:00～12:00

場所：愛知県庁西庁舎８階　スポーツ局会議室

参加者：BJ側　森会長、児島理事長、來田享子理事（中京大学教授）

　　　　愛知県庁側　スポーツ局アジア・アジアパラ競技大会推進課

　　　　　　　杉山直樹氏（推進課長）、田上健治氏（企画担当課長）、

　　　　　　　高橋直美氏（企画・啓発課長補佐）、塚崎有里氏（企画・啓発主任）

内容：BJ側から、１．BJという団体の紹介、２．ボウルズというスポーツについての紹介

　　　３．過去のアジアパラ競技大会におけるボウルズの実績、を資料により説明し、

　　　過去のアジアパラ競技大会ではずっとローンボウルズが正式種目採用されており、

日本も選手を派遣し入賞実績を挙げているので、愛知・名古屋大会でも是非採用して欲しい、当法人も協力する、旨を表明した。

愛知県庁側からは、オリンピック種目をまず優先的に採用することは決まっているが、

それ以外についてはまだ決まっていないので、これから検討する。

共催である名古屋市役所側にも別途説明して欲しい。の２点が表明された。

（３）アジア・ローンボウルズ連盟　理事会に出席

日時：6月18日（土）20：00～21:30

場所：ZoomによるWeb会議

出席者：松岡　緑（BJ国際部長）

報告された事項：

１．新しくアジア連盟に加盟する国：韓国、イラン、スリランカ、バングラデイシュ

　　２．2023年2月20日～26日にマレーシアでアジア選手権大会を開催する予定で

　　　　WBに手続き中。　2024年度は開催地未定。

　　３．アジア選手権大会の持ち回り優勝トロフィーを新調する（有志国の寄付により）。

　　４．アジア連盟の憲法改定を検討中。10月に改訂案の提示。来年2月に議決予定。

（４）第7回ジャパンオープン国際大会実行委員会の第2回を開催した。

日時：6月25日（土）10：00～11:00

場所：しあわせの村研修館　研修室

出席者：20名

議題：１．国内チームの編成方針および募集手順についての確認

　　　２．広報チラシ案の確認と配布予定について

　　　３．大会当日の写真撮影担当者の増員について

　　　４．大会会場のテント、折り畳み椅子、ウオーターサーバー等のレンタル費について

　　　５．参加国の国旗掲揚について

　　　６．海外チームの宿泊、食事場所（たんぽぽの家）との打合せ予定について

　　　７．国内チーム選手の募集案内について

　　　８．大会中の成績集計パソコンの持込みおよび印刷・掲示の段取りについて

　　　９．会計担当者間での打ち合わせ、調整

（５）関西LB協会運営委員会

日時：6月27日（月）13：00～16:00

場所：明石公園西会議室

参加者：関西LB協会所属の各クラブ代表者

議題：１．2021年度会計報告

　　　2. 2022年度行事計画

　　　　1)8月11日U-25関西大会について

 2)9月18日全国レクリエーション大会について

 3)11月5，6日　男女フリートリプルズ日本選手権大会について

　　　 4)12月3，4日　男女シングルス日本選手権大会について

（６）Aリーグカップ2022年前期大会(最終節)

主催：関西ローンボウルズ協会

主管：Ａリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：6月5日（日）、19日（日）13：00～17:00

結果：6月19日（日）前期の全終了時点での成績。(最終結果）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | A-1リーグ  | A-2リーグ |
| １位 | 合田洋子（学園ワイズ）131点 | 八杉　瞳（兵庫車椅子）　　134点 |
| 2位 | 長島 俊和（A L B C）　127点 | 森　弘子　（学園ワイズ）　110点 |
| 3位 | 森　紘一（学園ワイズ）125点坂本紘一（神戸ﾀｯﾁｬｰｽﾞ）125点 | 野上哲男（神戸ﾀｯﾁｬｰｽﾞ）　105点 |

　　　　　平均得点上位者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １位 | 山本唯信（ALBC） | 86/7=12.29点/日 |
| 2位 | 関口　溜（ALBC） | 103/9=11.44点/日 |
| 3位 | 宮北 茂（神戸ボウルズ）山形京子（学園ワイズ）　 | 110/10=11.00点/日99/9=11.00点/日 |

（７）SVリーグ2022年度前期大会（第5,6節）

主催：関西LB協会主管：SVリーグ実行委員会

リーダー：タッチャーズ、会計：兵庫車いす、記録：LC京都

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：6月4日（土）、18日（土）13:00～16:00

競技結果：6月18日　終了時点での成績

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 |
| チーム名 | 学園-A　 | ALBC | 学園-B　 | LC京都　 | 兵庫車椅子A | ﾀｯﾁｬ-ｽﾞA | 村人クラブ | ﾀｯﾁｬ-ｽﾞC | 兵庫車椅子B | ﾀｯﾁｬ-ｽﾞB |
| 勝点 | 27 | 24 | 23 | 23 | 19 | 16 | 13 | 12 | 12 | 6 |
| 得失点差 | +52 | +27 | +44 | +28 | +12 | －13 | －49 | －32 | －38 | －31 |
| 得点合計 | 138 | 124 | 124 | 121 | 125 | 96 |  87 | 81 | 80 | 87 |

（８）Mリーグ2022年度前期大会（第5,6節）

主催：関西LB協会　主管：Mリーグ実行委員会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：6月8日（水）、25日（土）13:00～16:00

競技結果：6月25日（土）終了時点での成績。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | 氏　名 | 平均ポイント | ポイント合計 | 出場試合数 |
| １位 | 井上千加子（神戸タッチャーズ） | 7.22 | 65.0 | 9 |
| ２位 | 宮﨑宗久（神戸タッチャーズ） | 7.11 | 64.0 | 9 |
| 3位 | 坂本紘一（神戸タッチャーズ） 野上哲男（神戸タッチャーズ） | 5.91 | 65.0 | 11 |

（９）女子ペアーズ関東選手権大会　兼　日本選手権大会関東地区予選会

主催：関東LB協会　　　　　　主管：関東地区クラブ

場所：立川市昭和記念公園ローンボウルズグリーン

日時：6月12日（日）9時～13時

参加チーム数：4チーム（参加4チームで総当たり戦3試合を行った。）

競技方式：一人3球×8エンド戦（60分の時間制限付き）

結果：下表のとおりとなり上位3チームが本選出場権を得た。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 順位 | クラブ名 | 選手名 | 成績（Δ＝総得失点差） |
| １位 | YC&AC | 小島弘子、安田加津子 | 2勝1敗、Δ＝0 |
| 2位 | YC&AC | 津山元子、石黒陽子　　 | 2勝1敗、Δ＝-7 |
| 3位 | 東京LBC | 小林麻衣子、富田紗生　 | 1勝2敗、Δ＝+7 |
| 4位 | YC&AC | 佐々木裕子、濱田早織　　 | 1勝2敗、Δ＝0 |





　　女子ペアーズ参加者（昭和記念公園）　　　　　男子ペアーズ参加者（YC&AC）

（１０）男子ペアーズ関東選手権大会　兼　日本選手権大会関東地区予選会

主催：関東LB協会　　　　　　主管：横浜地区クラブ

場所：横浜YC&ACローンボウルズグリーン

日時：6月25日（土）9時～16時30分

参加チーム数：10チーム

競技方式：予選ラウンドは5チーム×2グループに分かれ、グループ内で総当たり戦

　　　　　4試合を行った。1試合は一人3球×6エンド戦（45分の時間制限付き）

決勝ラウンドは、予選ラウンドの各グループ1位チーム同士で優勝決定戦、2位チーム同士で3位決定戦、3位チーム同士で5位決定戦を行った。

1試合は一人3球×8エンド戦（60分の時間制限付き）

予選ラウンドの結果：　　　　　　　　　　　　　　　　　　Δ＝総得失点差

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 　Aグループ | 　Bグループ |
| 順位 | クラブ名 | 選手名 | 成績 | クラブ名 | 選手名 | 成績 |
| １位 | YC&AC | Alex HendyMarcel Nieder. | 5勝0敗 | 東京LBC | 山田　克松原　忍 | 4勝1敗Δ＝+25 |
| 2位 | YLBC | 村瀬　康依田成史　　　 | 4勝1敗 | 東京LBC | 田中希望篠山俊介　　 | 4勝1敗Δ＝+9 |
| 3位 | YC&AC | Poster KlugShigeo Yasuda　　 | 3勝2敗 | YC&AC | George IshiguroHideaki Ando　　　 | 3勝2敗Δ＝+8 |
| 4位 | YLBC | 伊藤重光本庄　誠　　　 | 1勝4敗Δ＝-7 | YC&AC | Toshiaki AraiToshi Kurosawa　　　 | 3勝2敗Δ＝+5 |
| 5位 | 東京LBC | 首藤暁彦松原敬之　　　 | 1勝4敗Δ＝-13 | LB東京 | 植木正三黒沢秀行　　　 | 1勝4敗 |

決勝ラウンド結果：下記の４チームが本選出場権を得た。

　　　　　１位　山田・松原（東京LBC）　　２位　Alex H.・Marcel N.（YC＆AC）

　　　　　３位　村瀬・依田（YLBC）　　　 ４位　田中・篠山（東京LBC）

次点〈５位〉　Poster K.・Shigeo Yasuda（YC&AC）

（１１）障がい者ファミリー大会

主催：兵庫車いすクラブ

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：6月12日（日）9時～16時

競技方法：男女不問ペアーズ戦

　　　　　一人4球×8エンド戦〈70分時間制限あり〉を4試合行う。

参加チーム数：14チーム

結果：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Δ＝総得点/総失点

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 準に | 所属クラブ | 選手名 | 　成績 |
| １位 | 学園ワイズ | 合田洋子、藤川辰美 | ４勝0敗 |
| ２位 | 兵庫車いす | 八杉　瞳、魚住弘治　　 | 3勝1敗、Δ＝3.07 |
| ３位 | LC京都 | 吉中康子、廣内哲也 | 3勝1敗、Δ＝1.20 |

（１２）関西地区規則講習会

主催：BJ技術・競技部

場所：神戸市しあわせの村研修館　研修室（午前中）、ローンボウルズグリーン（午後）

日時：6月26日（日）9:00-15:00

参加者：18名

講師：合田　①「リンクの占有とスムーズな試合運び」について

船引　②「アンパイア、マーカーの責務」について

森　　③「位置ずれ」について

（１３）明石市中央体育会館インドアマット交流大会

　　　　主催：明石市ローンボウルズ協会

　　　　場所：明石市中央体育会館第１競技場（２リンク）

　　　　日時：6月13日（月）9：00～16：00

　　　　参加人数：フォアーズ６チーム（24人） チーム編成は、当日抽選により決定。

　　　　競技方式：一人2球８エンド戦を予選ラウンドで２ゲーム、決勝プレーオフで1ゲームの

合計3ゲームを実施した。

結果：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Δ＝総得点-総失点

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 順位 | チーム | 選手名 | 　成績 |
| １位 | E | 合田洋子、福井加代子、山崎清子、船引啓吾 | 予選Bグループを2勝0敗で1位通過。決勝プレーオフを８：５で勝利。 |
| ２位 |  B | 浜田ひろみ、森　弘子、垣内紀子、小野宦司　 | 予選Aグループを1勝1敗、Δ＝+4で1位通過。決勝プレーオフを５：８で敗北。決勝プレーオフを８：５で勝利。 |
| ３位 |  D | 垣内元治郎、上田ひとみ宮北　茂、藤川辰美 | 予選Bグループを1勝1敗で2位通過。決勝プレーオフを９：２で勝利。 |

2022年7月、8月の計画、予定

（１）BJ理事連絡会（Ｗeb会議）令和4年度（第3回）開催

日時：(第3回)　7月16日（土）20：00～21:30

場所：ZoomによるWeb会議

議題：追って連絡

（２）2022年度第2回BJ定例理事会（Ｗeb会議）開催

日時：8月28日（日）13：00～17:00

場所：ZoomによるWeb会議

議題：追って連絡

（３）第7回ジャパンオープン国際大会実行委員会（第3回、第4回）開催

日時：(第3回)　7月23日（土）10：00～12:00

　(第4回)　8月20日（土）13：00～15:00

場所：しあわせの村研修館　研修室

（４）Aリーグカップ2022年後期大会(第1,2,3,4節)

主催：関西ローンボウルズ協会

主管：Ａリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：7月3日（日）、17日（日）、8月7日（日）、21日（日）　9：30～13:30

　　　　　参加申込み：誰でも参加できます。参加希望者は当日30分前までに来場し、受付に申出る

こと。参加費は200円/人。チーム編成は当日の抽選にて決定。

（５）SVリーグ2022年度　前期大会(第7,8,9,10節)

主催：関西LB協会

主管：SVリーグ実行委員会

リーダーはタッチャーズ、会計は兵庫車いす、記録はLC京都が担当

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：7月2日（土）、16日（土）、8月6日（土）、20日（土）

9:20～12:00（9時15分までに受付完了のこと）

　競技内容：10チームが参加し、ペアーズ戦を２ゲーム行う。

（６）Ｍリーグ2022年度　前期大会(第7,8,9,10節)

主催：関西LB協会

主管：Mリーグ実行委員会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：7月9日（土）、27日（水）、8月13日（土）、24日（水）、

9:20～12:00（9時15分までに受付完了のこと）

競技内容：チーム編成は当日の抽選にて決定。参加人数によりペアーズ、トリプルズ、

フォアーズ戦を行う。8エンド戦を2ゲーム行う。

参加申込み：事前申込みは不要。当日、会場への来場で可。チーム編成は当日の抽選にて決定。

（７）男女フリーフォアーズ関東選手権大会　兼　日本選手権大会関東地区予選会

主催：関東LB協会

場所：立川市昭和記念公園ローンボウルズグリーン

日時：7月10日（日）9時～17時

参加チーム数：

競技方式：

（８）男女フリートリプルズ関東選手権大会　兼　日本選手権大会関東地区予選会

主催：関東LB協会

場所：横浜市YC＆ACローンボウルズグリーン

日時：7月17日（日）9時～17時

参加チーム数：

競技方式：

（９）明石地区ルールブック研修会（初心者～中級者向け）

主催：明石市ローンボウルズ協会

場所：明石公園　花と緑センター研修室

日時：7月31日（日）13:00-17:00

参加費：無料　但しルールブックをまだ保有していない方は当日に500円で購入のこと。

参加申し込み先：ALBCクラブ　長島氏

（１０）U-25 東西対抗大会　関西地区予選会

主催：関西LB協会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：8月11日（木、祭）

競技内容：

（１１）関西地区マーカー研修会

主催：BJ技術競技部

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：8月28日（日）9:00～12:00

研修内容：マーカーの実技

参加申込み：

会員からの投稿

**基本ドリルの大切さを痛感**森　紘一（BJ選手選考委員メンバーのひとり）

先月号のBJブリテンに掲載された長谷部健太選手（オーストラリアクラブ）がNSW州の男子シングルス戦で優勝したときのビデオを見られた方も多いと思いますが、私もこれを見て、あらためて基本ドリルの大切さを痛感しました。

現在、BJ会員の中から応募された男女合計５０名ほどの「強化対象選手」がドリル・チェックというプログラムを練習していただいていますが、その中の最初の２種目として「グルーピング」、「４０ボウルズ」があります。簡単に説明すれば、「グルーピング」は持ち球４球のまず第１球を投球し、その停止した位置をめがけて第２球、第３球、第４球を投球して、第１球目の位置から３０ｃｍ以内（マットの巾の寸法）に停止すれば３点、６０ｃｍ以内（マットの長さの寸法）に停止すれば２点、１ｍ以内に停止すれば１点、それ以上の距離であれば０点として、これを１２エンド繰り返す練習です。

「４０ボウルズ」もほぼ同じですが、持ち球４球のうち最初２球はTポイントに置いたジャックに近づけるように投球し、後の２球はマットから最短の２３ｍの位置に置いたジャックに近づけるように投球するもので、各エンドごとにフォアハンドから投げる場合、バックハンドから投げる場合や

最初の２球を近いジャック、後の２球を遠いジャックと目標の位置を逆にする場合とを含めて１０エンド繰り返す練習です。得点の付け方は「グルーピング」と同じです。

　最初のうちは、１エンドのうちやっと２点位取れる（４０ボウルズであれば４球のうちの１球がやっとマット長さ以内に入り、あとの３球はジャックから１ｍ以内にも寄らない）というレベルが普通ですが、これを何回も練習していれば、だんだん得点は向上していきます。しかし、マット長さ以内に付けられる割合を常時５割以上、すなわち４球の内２球以上にコンスタントに保つには相当な努力が必要です。

　そこで、冒頭の長谷部健太選手のビデオに戻りますが、彼らは31点先取した者が優勝するというシングルス戦で3時間ぶっ続けで30エンド以上（120球以上）投球している状況で、そのほとんどの球を目標点ののマット巾（３０ｃｍ）以内に寄せています（意図してドライブボウルなどを投げた場合を除いて）。マット長さ（６０ｃｍ）以内ならば１００％の成功率を達成していたのは間違いないと思います。これを3時間続けられる集中力、体力にはびっくりする以外にはありませんでした。。

メンタル面、フィジカル面の両方に置おいて実に強靭です。

これでは、マット長さの範囲に寄せられる確率が５０％とか７５％とか言っている私たちのレベルでは、彼らに勝つことは至難の業です。

単純な仮定で試算してみましょう。６０ｃｍ以内に寄せられる彼らの確率が100%で、私の確率が

7%%であるとすると、25%のエンド数は確実に彼らに取られます。残りの75%のエンド数をお互いが半分ずつ（37.5％ずつ）取り合いますから、結局私の取れるエンド数は全体の37.5%であり、25+37.5=62.5%は彼らに取られるので、大差で負けることになります。

長谷部健太君のシングルスの決勝戦の場合は、お互いに３０ｃｍ以内に寄せられる確率が95%であるのか、98%であるのかというレベルでどちらがチャンピオンになれるのかを戦っていたのでしょう。

しかし最後に言いたいのは、彼らも私たちも同じ人間であるので、彼らだけが特別な道具を使っている訳ではなく、特別の才能に恵まれている人種でもないということです。要は、基本ドリルの練習量だけの違いであるということです。

ということで、国際的な大会の場に出ることを目標にしておられるBJ加盟のローンボウル愛好者のm皆さんは、是非基本ドリルを繰り返し練習してその得点をより一層向上させることに努力してください。

やれば出来るのですから。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上